

創業35周年記念

横須賀信用金庫

御 挨 拶

大正13年3月軍港都市横須賀の繁華街に産声を揚げ、唯一の郷土の金融機関として星霜を重ね、本年を以つて満35年を迎えました。創立から今日に至る迄の世情並びに経済界の動きを顧りみますとき、その激しい変転は洵に感慨無量のものがあります。この間の我が国経済界は、我が国歴史と共に数々の変遷がありました。戦前、戦時中、終戦直後を経て来ました組合時代、戦後の金庫時代に於きましても、共に幾多の苦難を克服しつゝ、今日迄成長を続けて参つたのであります。中でも終戦後の再建に当つては、非常な不安と困難に遭遇致しましたが、常に共存同栄、相互援助の組合精神のもとに、一貫した堅実経営がなされ、幸いに会員並びに取引先の皆様の深い御理解と御信頼を得まして、今日の業績を固める事が出来たのであります。今や当金庫の歩みと同じく信用金庫は、全国の金融機関の中に伍して確固たる地位を固め、信頼を深め、我が国金融界に於きまして重要な役割を果して居ります事は衆目の認めるところであります。

私共役員一同は、この信用金庫の一員としまして、こゝに創立35周年を迎えるに当り、この35年の長い歴史を追懐し、謙虚に反省して、更に心を新たに、新たなる決意を持つて金庫本来の使命達成に微力ながら懸命の努力をしたいと存じます。

纏つて最近の経済情勢を見ますに、国際収支の好調、消費景気の堅調、財政支出の増加、五年続きの大豊作にめぐまれ明るい情勢下にあり、この時に当り、更に公共的使命を遺憾なく發揮出来ます事を念願しまして、今後共経営の近代化と後進職員の育成につとめまして、当金庫100年の基礎を固め度く一段の努力を続けて行きたく存じます。

ささやかなこの記念冊子を貴台の座右に御贈り致し、又この機会に皆様方の常に変わらぬ御協力、御愛顧に対し厚く御礼申し上げますと共に、何卒今後共一層の御支援、御鞭撻を賜ります様切に御願申し上げます。

昭和34年11月

横須賀信用金庫

理事長 柴 崎 彦 造

横須賀信用金庫のあゆみ

設立動機及び創立 (1924年)

第一次大戦終了の波動は我国に大きな影響を与え、大正9年以降の経済恐慌は関東大震災によって更に経済界に打撃を与えた。市内の中小企業の多くは不況のため必然的に倒産して行くのも相当数にのぼり、大金融機関の融資は大部分が大企業に向けられると云う状態でありました。大正13年初め、軍港横須賀の復興のため中小商工業者の結束と金融の打開を図るため、恒久的法策として、産業組合法に基く有限責任横須賀信用組合設立の機運昂り、当時の横須賀市有力者発起人となり大正13年3月2日創立総会を開催し、3月10日を期して事業を開始、ここに当金庫の歴史の第一頁が開かれたのであります。

信用組合時代 (1924~1949年)

この時代は大正の後期より昭和金融恐慌時代、満州事変より戦時体制時代、そして終戦と云う我国経済界にとっては一大不況時代でありました。当組合は、この20年間をよくその不況と災害に耐え、組合基礎の強化と業務の伸展につとめたのであります。

即ち、当市の中心地大滝町に事務所を設けてから終始一貫、中小企業振興のため全力を尽したのであります。昭和6年の秋には国際的軍縮の動勢により工廠の大量人員整理があり、極度に当市の経済は不況に悩んだのでした。又日華事変を契機として海軍軍人により消費景気が燃え上り、他都市には見られない軍需景気にわいたのであります。いずれにしても当市は、全国的な景気とは無関係な自主性のない、軍事への従属的歴史を繰り返しながら、昭和16年の大東亜戦争に突入したのであります。この間の事業は、当市の特殊性から民間滞溜金の吸収と不要、不急の設備投資の阻止により貯蓄運動を展開、預金はいちじるしく増加したのであります。昭和14年には、前年に比して98%の増加を示し、以後毎年100%以上の驚異的な伸びを見せたのであります。預、貸率も70%前後と安定し、中小企業金融としての使命を確立した時期でありました。しかし、大東亜戦争遂行のため国家目的に順応する資金統制計画の完璧を期するため日銀法の改正、17年には金融統制団体令による産業別金融統制が確立され、18年3月には市街地信用組合は単独法の組合となり、都市と農村団体に区別され、戦時使命を強化されました。当時の内外事情を背景として当組合の迎った業況は、預金面等に非常な伸張を示しました。これは兵力、職工の増加、賃金の上昇、消費の規正、貯蓄の強制の結果でありまして、貸出は御用商人以外の商業の不活潑のため、ほとんど増加を見なかつたのであります。したがって余裕金は国債、国策会社社債等の積極的買入に向けられ、地方金融機関は単なる資金吸収機関化してしまつたのであります。この様な既成事実、市街地信用組合法の単独制定となり、大蔵省監督の下に員外預金も認められ、庶民金融機関としての新しい飛躍を遂げたのであります。

昭和19年、四代目組合長として柴崎彦造現理事長が就任、家業を投げうちこの難局に対処されたのであります。昭和20年不幸敗戦により経済界はまったく困乱しましたが、経済の安定を図るため種々国家的政策がなされ、当金庫も再建に全力をあげたのであります。

特に当市の旧軍用地の平和産業利用に伴う中小企業育成金融え積極的に協力、多大の功績を残したのであります。昭和21年10月、金融機関再建整備法が制定され、当組合も再建整備に努め、23年3月末を最終として整備に入ったのであります。このため、戦時中あらゆる努力を払って国策に協力したため、かえって莫大な損失をこうむつたのであります。インフレーションも次第に緩慢の傾向を示し漸く安定を見るに至り、各位の御理解と御協力を得て、又家業を投げ捨て組合再建に全力を尽す組合長初め、役職員一体となつて出資増額につとめると共に、救国貯蓄運動に併せて預金増強運動を展開し預金は1,400万円と前年に比べて2倍となり、24年には2,400万円と一大飛躍を遂げ、この苦難期を乗り越え今日の基礎を作つたのであります。再建整備を完了した後は、経済界の復興が緒につきはじめたことと相まって着々内容の充実を図り、26年2月、横須賀商工会議所に於て臨時総代会を開催、田浦信用組合と合併し、又合併実行に関する一切の事務を柴崎組合長に一任する事を満場一致で可決、当局に申請3月内認可を得、同組合を田浦支店とし、ここに順風満帆の躍進を始めたのであります。

信用金庫時代 (1950年~)

昭和26年6月、信用金庫法が公布施行されるや、市民大衆のためにある金融機関として10月組織変更し、名称も「横須賀信用金庫」となり、11月には衣笠支店設置申請、明けて2月認可、ここに朝鮮動乱の軍需景気と相まって本店事務所も改築、庶民金融機関として躍進の基礎は確立され、26年度に於ける預金は動乱による軍需景気と特殊地域であるため外国軍隊による爆発的消費景気により一挙に1億6千万円を示し、1億突破記念を盛大に行つたのであります。昭和27年9月、第1回目の割増金付定期預金の募集を開始、好評を博しました。翌年7月追浜支店設置の認可あり、次いで中小企業金融公庫の代理業務取扱内国為替取扱をそれぞれ開始、ここに全ての金融機関に於ける業務を行い、念願の本店新築申請を提出するに至つたのであります。28年、塚越三郎専務理事に就任、柴崎理事長を補佐し、内部組織も一段と固まつたのであります。30年10月、待望の本店が鉄筋コンクリート地下1階、地上3階の近代建築の粋をこらして開店した。設計監督 創和建築設計事務所、施工 小泉建設株式会社に幾多の難関を克服し、延面積205坪のこの建物は道行く人々の目を奪つたものです。建物の偉容は30余年の伝統と相まって益々市民の信用を得、預金は遂に大台の10億円を突破し、32年には住宅金融公庫代理業務、横須賀市の水道事業及び公金収納取扱事務を開始、ここに名実共に押しも押されぬ横須賀市随一の金融機関となつたのであります。昭和32年には、全国信用金庫が一斉に開始した拡充3ヶ年計画の第1年度として自己資本の充実、近代経営化に重点を置き、又店舗の充実を計り、33年6月久里浜に出張所を開設、8月には衣笠支店を移転新築、本年6月、田浦支店新築認可あり現在工事進行中であります。完成のあかつきには北郷一の建物となることでしょう。又9月には久里浜出張所の支店昇格及び事務所新築を申請中で、本年10月より預金の事務機械化を開始致しました。

年 譜

大正 13 年 3 月 2 日	有限責任横須賀信用組合設立
昭和 18 年 10 月	市街地信用組合法による組合に組織変更
昭和 19 年 1 月	柴崎彦造氏第四代目組合長に就任
昭和 20 年 4 月	庶民金融公庫と代理業務契約締結
昭和 23 年 3 月	金融機関再建整備法に基く整備
昭和 24 年 6 月	国民金融公庫（庶民金庫改組）の代理業務開始
昭和 25 年 4 月	中小企業等協同組合法による信用協同組合に組織変更
昭和 26 年 3 月	田浦信用組合を合併，同組合を田浦支店とす
昭和 26 年 10 月	信用金庫法に基き信用金庫に組織変更
昭和 27 年 2 月	衣笠支店（衣笠栄町 1~67）開設
昭和 28 年 7 月	追浜支店（追浜本町 1~41）開設
昭和 28 年 11 月	中小企業金融公庫の代理業務開始
昭和 29 年 5 月	内国為替業務取扱
昭和 30 年 10 月	本店移転新築（大滝町 2~2）
昭和 31 年 2 月	自動車損害賠償保険の保険料収納事務取扱
昭和 32 年 3 月	住宅金融公庫代理業務取扱
昭和 33 年 3 月	横須賀市水道事業及び公金収納取扱業務開始
昭和 33 年 6 月	久里浜出張所開設（八幡久里浜 577）
昭和 33 年 8 月	衣笠支店移転新築（公郷町 2~11）
昭和 34 年 1 月	金融機関再建整備法による調整勘定完全閉鎖
昭和 34 年 6 月	田浦支店新築工事開始
昭和 34 年 9 月	久里浜出張所支店昇格及び新築工事申請書提出

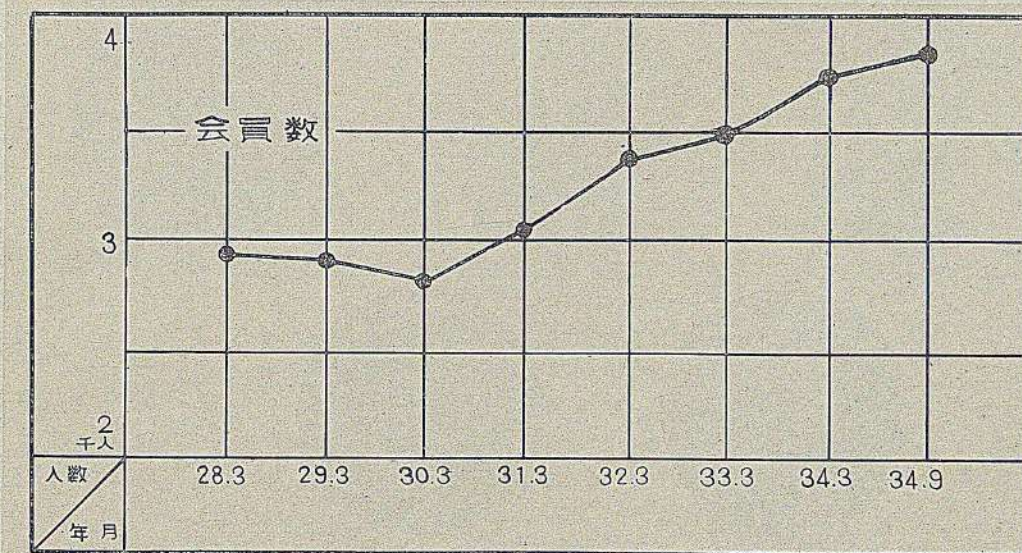
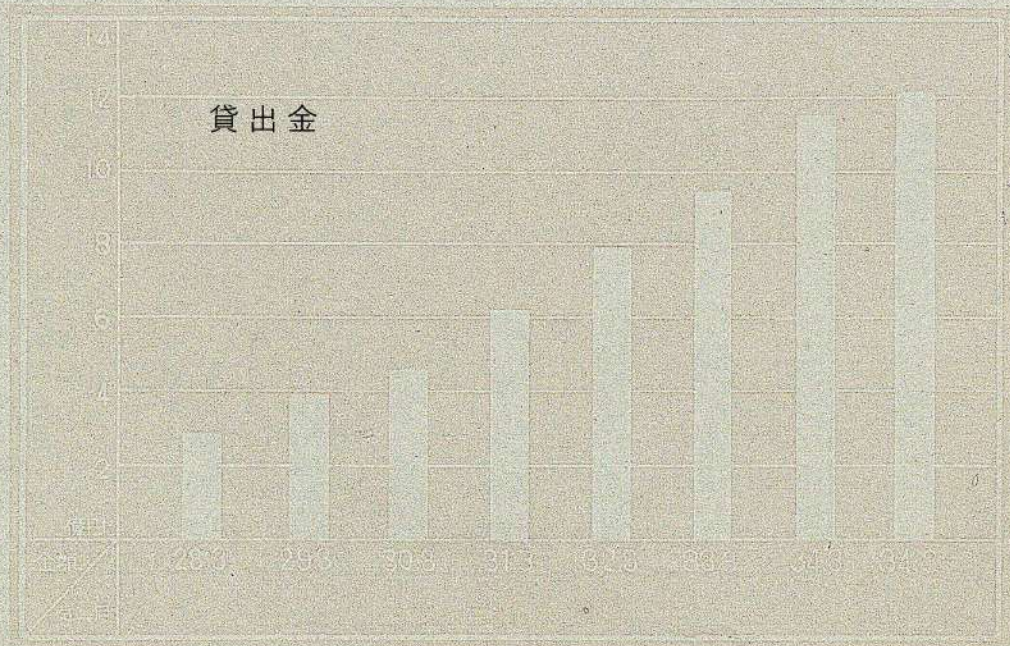
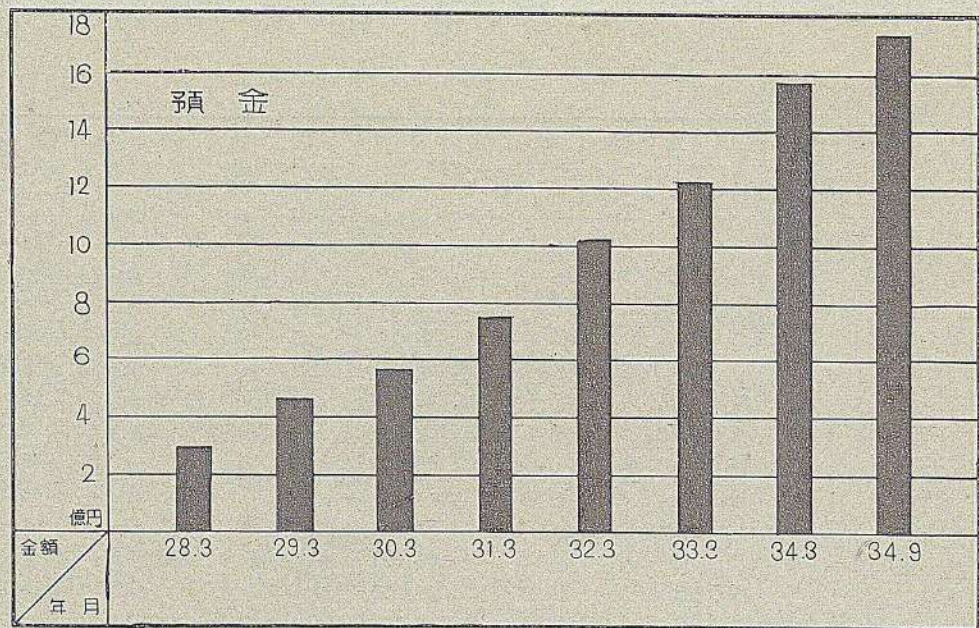
歴代組合長，理事長

氏 名	在 任 期 間
今 井 市 兵 衛	大正 13 年 3 月 ~ 大正 15 年 2 月
古 川 祐 達 郎	大正 15 年 2 月 ~ 昭和 9 年 10 月
蒔 田 清 次 郎	昭和 9 年 10 月 ~ 昭和 19 年 1 月
柴 崎 彦 造	昭和 19 年 1 月 ~ 現在に至る

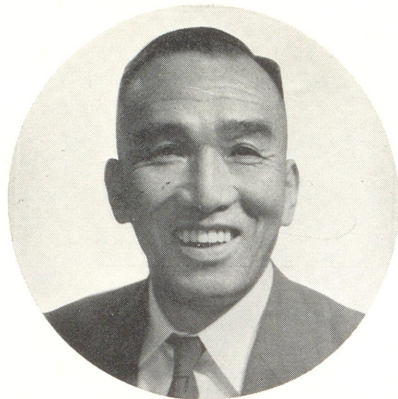
貸 借 対 照 表

昭和 34 年 9 月 30 日 現在

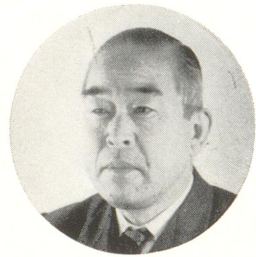
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	25,286,981	預 金 積 金	1,754,766,458
預 ケ 金	111,896,384	当 座 預 金	39,149,566
(為替決済預ケ金)	2,197,783	普 通 預 金	438,524,384
金 銭 信 託	50,000,000	通 知 預 金	30,267,545
有 価 証 券	269,469,216	別 段 預 金	6,368,168
社 債	94,609,810	納 税 準 備 預 金	16,104,028
貸 付 信 託	135,500,000	政 府 関 係 預 り 金	2,190,000
証 券 投 資 信 託	36,500,000	定 期 預 金	780,801,485
株 式	2,859,406	定 期 積 金	441,361,282
貸 出 金	1,450,758,592	未 決 済 為 替 借	4,782,607
割 引 手 形	39,621,209	給 付 補 て ん 備 金	6,778,696
手 形 貸 付	1,167,263,650	其 の 他 負 債	18,114,488
証 書 貸 付	23,873,733	未 払 配 当 金	2,081,139
全 信 連 短 期 資 金	220,000,000	未 払 利 息 其 の 他	14,880,385
そ の 他 資 産	2,380,309	納 税 引 当 金	67,710
全 信 連 出 資 金	800,000	未 払 諸 税	359,300
仮 払 金	1,580,309	仮 受 金	725,954
動 産 不 動 産	65,724,964	代 理 業 務 勘 定	4,790,513
事 業 用 動 産	11,106,774	国 民 金 融 公 庫	28,675
事 業 用 不 動 産	47,991,140	中 小 企 業 金 融 公 庫	3,552,048
建 設 仮 勘 定	5,600,000	住 宅 金 融 公 庫	901,300
所 有 不 動 産	1,027,050	全 国 信 用 金 庫 連 合 会	308,490
債 務 保 証 見 返	112,028,550	債 務 保 証	112,028,550
国 民 金 融 公 庫	29,474,550	国 民 金 融 公 庫	29,474,550
中 小 企 業 金 融 公 庫	64,104,000	中 小 企 業 金 融 公 庫	64,104,000
全 国 信 用 金 庫 連 合 会	18,450,000	全 国 信 用 金 庫 連 合 会	18,450,000
		貸 倒 準 備 金	36,298,074
		価 格 変 動 準 備 金	4,134,613
		退 職 給 与 引 当 金	1,606,737
		会 員 勘 定	109,301,235
		出 資 金	78,527,000
		法 定 準 備 金	16,500,000
		特 別 積 立 金	9,350,000
		退 職 給 与 積 立 金	4,920,000
		前 期 繰 越 金	4,236
		利 益 金	34,943,024
合 計	2,087,544,996	合 計	2,087,544,996



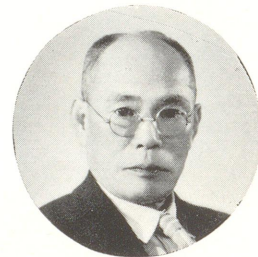
役員



理事長 柴崎 彦造



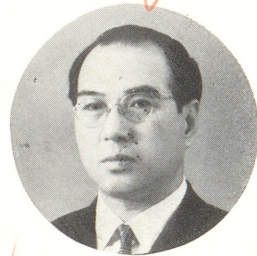
専務理事 塚越 三郎



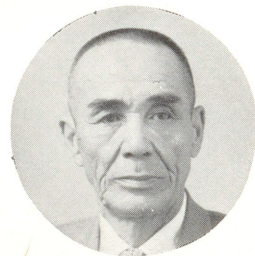
理事 吉井市藏



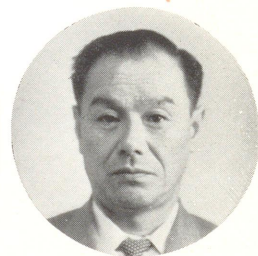
理事 金子吉造



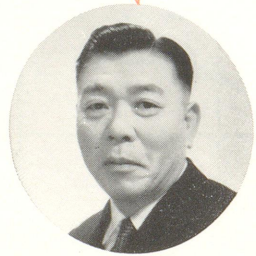
理事 大草義己



理事 平田 康三



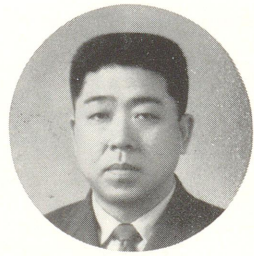
理事 松山雅夫



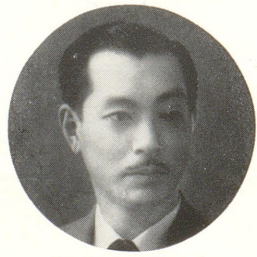
理事 花崎久雄



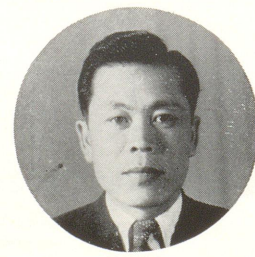
理事 田川誠治



監事 浜田清三郎



監事 石渡三郎



監事 加藤 勇



店舗所在地

本店	横須賀市大滝町2丁目2番地 電話 4100~4
田浦支店	横須賀市船越町1丁目45番地 電話(田浦)3045・3813
衣笠支店	横須賀市公郷町2丁目11番地 電話 901・4279
追浜支店	横須賀市追浜本町1丁目41番地 電話(田浦)3649
久里浜出張所	横須賀市八幡久里浜577番地 電話(浦賀)781

桃栗3年柿8年 地元のヨコシン35年



本店全景

総務部長 小幡哲夫
職員数 75名

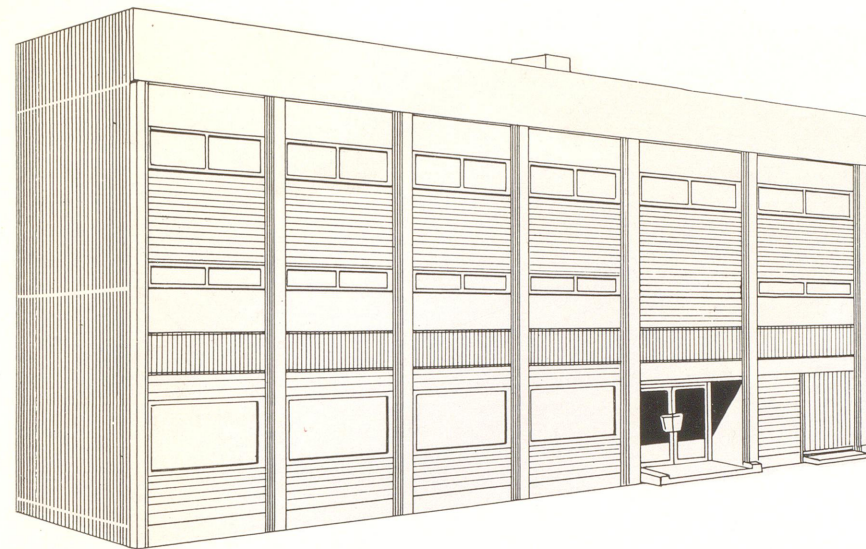


外務員室

営業室



夢と希望を横信で あなたが育てた35年



田浦支店完成図(目下工事中)



田浦支店仮店舗

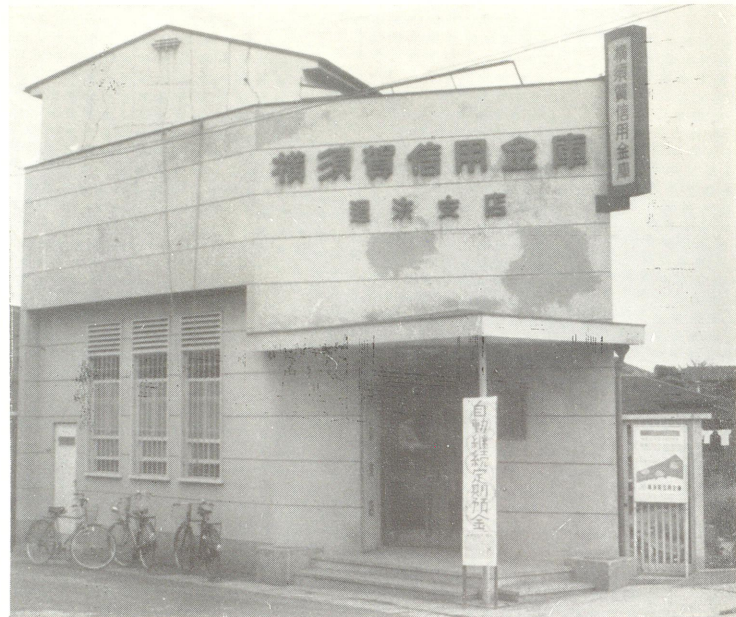
支店長 望月 誠
職員数 17名



衣笠支店

支店長 石川 劭
職員数 16名

ありがとう35年の我が歩み

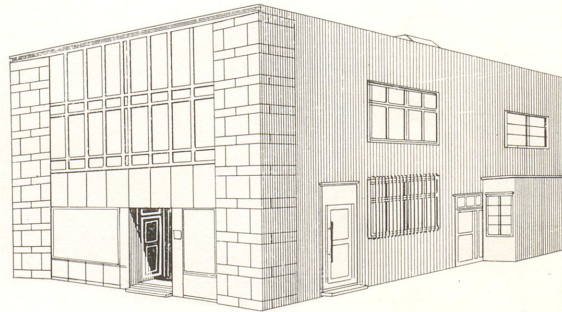


追浜支店

支店長 中村 惣一
職員数 13名



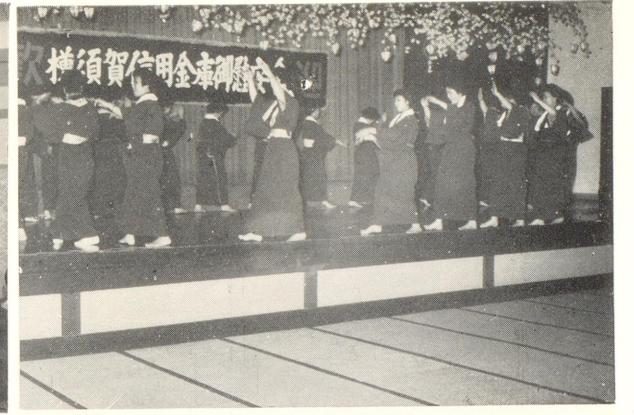
久里浜出張所
出張所長 八住 光則
職員数 8名



久里浜支店完成図 (目下申請中)



ヨコシン抽籤会風景



職員慰安旅行演芸会



第1回旅行預金記念撮影 (京都平安神宮に於て)



野球部



宣伝カー出発

古い傳統変らぬ信用 35年の感謝をこめて

信用で迎えた35年 地元栄えて金庫も実る

横須賀信用金庫総代名簿

地 区 別	氏 名			
第 1 区 (19 人)	品川 亨 近藤 正一 小杉 芳治 守谷 嘉市 加藤 金治	吉井 勝重 田中捨次郎 有賀 三雄 重城 二郎 村田 巖	窪田 栄蔵 西村 辰男 大河原千代蔵 石塚仙太郎 平本 義男	堀場宗太郎 鈴木 万吉 仁科孝次郎 服部 松夫
第 2 区 (17 名)	小山 彰三 渡辺 正 檜垣 進 望月 多一 江川源一郎	山際 清吉 竹内 清 田村 亀雄 大曲 直衛	松坂 正義 真木 代英 角田 周治 長森 梅吉	菊地 繁 畑中 直枝 網野 信 青木徳五郎
第 3 区 (8 名)	今関 実 西村 栄助	高橋 孝橋 井上 一良	佐々木昇次 田中徳三郎	仙石 利 曾根 繁男
第 4 区 (13 名)	田村 信司 三杉透三郎 知原重太郎 関島 清	山田 昌輝 小板橋幸一郎 岩上 喜一	角田 栄寧 三繩美代司 菊地 正信	石渡 英男 近藤 寛治 大村 角蔵
第 5 区 (9 名)	井上岩次郎 高木 佐吉 辻井新一郎	塚田庄四郎 相沢伊佐男	堀川 清 長谷川良二	栄田 正勝 三橋喜一郎
第 6 区 (7 名)	斎田弥四郎 笹田 万蔵	岩崎 要松 掛田 仁市	大木 二郎 鈴木 長吉	高坂 英司
第 7 区 (7 名)	高野 忠夫 鹿島 武二	玉木 弁戒 山田 孝之	長島 治長 高橋 太一	綿谷 利雄

信用で育った金庫 感謝で迎えた35周年

